



ほけんだより

令和6年5月



識名さつき認定こども園
看護師 大城

新学期が始まって1ヵ月が経ち、子どもたちも新しいお友達と元気に遊ぶ姿が見られるようになってきました。しかし、体や心に疲れが出てきて怪我をしやすい時期でもあります。規則正しい生活をして、元気いっぱい過ごせるようにしましょう

爪はきれいかな？



子どもたちは様々な物に触れるため、爪の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れが溜まると炎症を起こし、爪の病気になってしまうので、手洗いで落としきれない汚れは、お風呂できれいに落としてあげましょう。



また、爪が長いとどこかにひっかけてしまったり、お友達を傷つけてしまうことにもなりかねません。おうちでは定期的に切ってくださいようお願いいたします。

食中毒に注意

湿度や気温が高い季節は食中毒が増えます。食中毒は、細菌などに汚染された食品や水、食器、手指などから感染します。予防には、手洗いや食品の取り扱いに気をつけること（生物はよく加熱するなど）が大切です。



お知らせ

5月9日（木）10日（金）尿検査の提出日です。採尿方法は検査容器と一緒にお願いいたします。

虫刺され

子どもは蚊に刺されると、大人より反応が遅く、1～2日後に症状が出る場合があります。時間が経つにつれ、赤く腫れたり、水泡ができたりし、腫れる場合も大人よりも大きく腫れます。これは、虫刺されの経験が少ないために起こる激しい炎症反応です。刺された直後に洗って冷やし、薬を塗ってもよくならない時は病院で診てもらいましょう。また手足の指先はなめてしまう危険性もあるため、薬はつけないようにしてください。





保健だより

2024年 令和6年 5月号(第479号)

発行 那覇市子ども教育保育課 ☎098-861-2113

5月が始まりました。こどもたちも新しい環境に少しずつ慣れ、自分のペースで楽しめるようになってきた頃だと思います。一方で、体や心に疲れが出て、けがをしたり、体調を崩したりしやすい時期でもあります。また、大型連休で生活習慣が乱れがちになってしまいます。規則正しい生活を心がけ、元気いっぱいにご過ごせるようにしましょう！



令和6年度「児童福祉週間」標語

「すきなこと どんどんふやして おおきなあれ」 加藤 共泰さん(6歳)香川県

～この時期に流行する感染症～

溶連菌感染症

○毎年、「冬」及び「春から初夏にかけて」という2つの時期に流行します。

症状：主に、扁桃炎、伝染性膿かしん(とびひ)、中耳炎、肺炎、化膿性関節炎、骨髄炎、髄膜炎等のさまざまな症状があります。扁桃炎の症状としては、発熱や喉の痛み、腫れや化膿などが生じます。また、舌が莓状に赤く腫れ、全身に発疹が出ます。

手足口病

○春から夏にかけて流行します。原因のウイルスが複数あるため、何度でもかかる可能性があります。

症状：発熱や喉の痛みを伴う水疱(水ぶくれ)が口の中にでき、唾液の量が増え、手足の末端やおしり等に水疱(水ぶくれ)ができる等があります。無菌性髄膜炎を合併することがあり、発熱や頭痛、嘔吐がみられる場合もあります。また、稀ではありますが、脳炎を合併し、けいれんや意識障害が生じることもあります。

咽頭結膜熱

○年間を通じて発生するが、特に夏季に流行がみられます。令和5年度は秋ごろから冬にかけても警報が発令されています。

症状：主に高熱、扁桃腺炎、結膜炎です。感染力が強いため、タオル等の共有は厳禁です。

参考：「保育所における感染症対策ガイドライン(2023年改訂版)」 ども家庭庁

手洗い

手洗いはかぜや感染症の予防にもつながります。外遊びの後、トイレの後、食事の前など、手を洗う習慣をつけましょう。

 水道水で手を濡らします。	 石けんをしっかり泡立てます。	 手の平を合わせて洗います。	 手の甲を洗います。
 指と指の間を洗います。	 指先、爪の中を洗います。	 手首を洗います。	 石けんを洗い流します。

休日・夜間の急病の対応について

お子さまの急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけ医のほか、近くの救急病院などの診療時間を確認しておきましょう。

(こども医療でんわ相談) #8000 全国同一の短縮ダイヤル
相談日時：平日(午後7時～翌朝8時)
土日・祝日(24時間対応)

乳幼児健診について(5月)

乳児健診・1歳6か月健診・2歳児歯科健診・3歳児健診の日程については、那覇市保健所ホームページをご参照下さい。お問い合わせ先 那覇市保健所 地域保健課 ☎098-853-7962